

週間漁海況情報—第26号

平成22年07月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

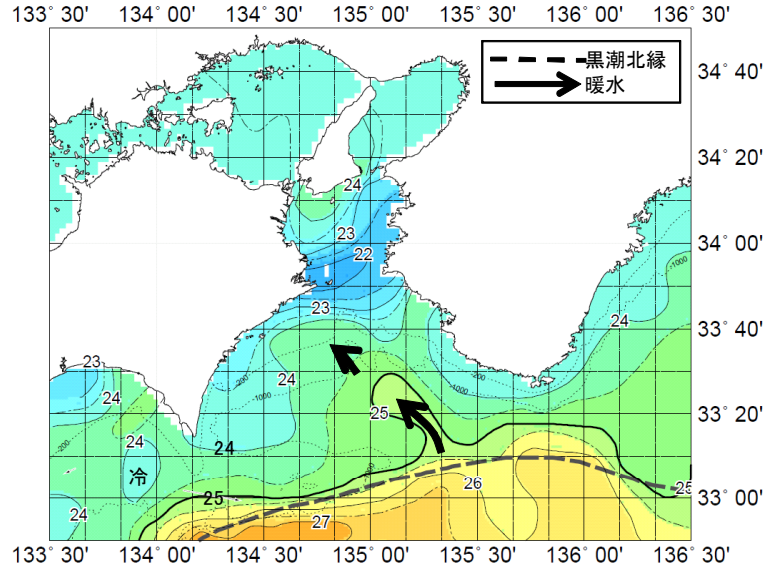
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.7.12）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、25～27℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が22～23℃台、紀伊水道が21～24℃台、海部沿岸も21～24℃台である。



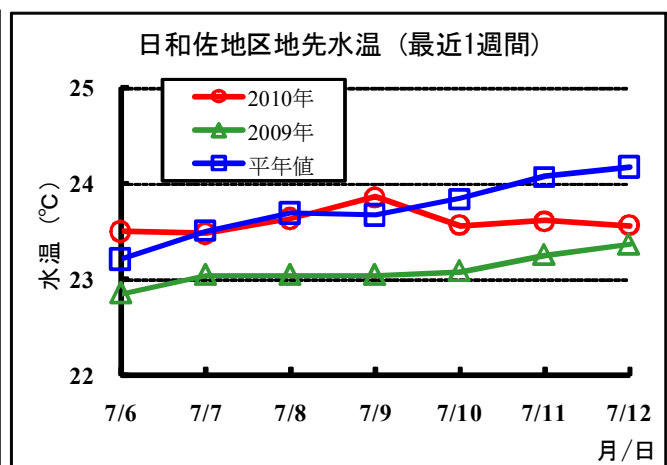
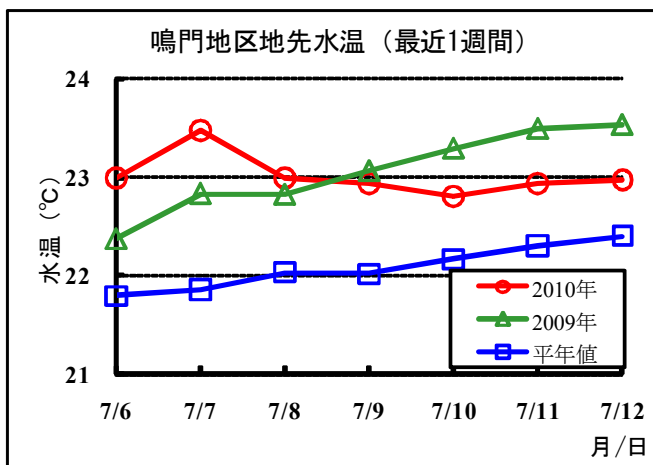
土佐湾沖合では冷水塊が東進している。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から海部沿岸に向けて暖水流入がある。海部郡の岸よりは、紀伊水道から南下した23℃台の内海系水に覆われている。

漁業調査船「とくしま」が7月9日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層で「平年並み」の23.1℃、10m層で「やや高め」の21.8℃、20m層で「平年並み」の21.0℃、30m層で「やや低め」の18.4℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
7/9	今年値	23.1	21.8	21.0	18.4	30.8	31.2	31.4	31.9
	平年偏差	0.2	0.6	0.4	-1.3	-0.8	-0.6	-0.7	-0.3
	前年偏差	-0.2	0.2	0.3	-0.1	-1.7	-1.6	-1.5	-0.9

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の22.8～23.5℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23.5～23.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の22.5～24.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・小主体にゴマサバが0.4トン(1日1隻当たり3kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、イサキが0.2トン(同3kg)、ウルメイワシが0.6トン(同8kg)、小小主体にカマス類が1.6トン(同20kg)、キビナゴが0.3トン(同4kg)、小主体にマアジが1.0トン(同13kg)、マイワシが0.4トン(同5kg)、マルソウダが0.4トン(同5kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にイサキが0.2トン(同1kg)、マルソウダが1.6トン(同5kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.4トン(同8kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが86.4トン(同675kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 07月05日～07月11日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	161	439	3	大・小主体
小型定置網		イサキ	79	227	3	
		ウルメイワシ	79	632	8	
		カマス類	79	1,574	20	小小主体
		キビナゴ	79	346	4	
		マアジ	79	1,013	13	小主体
		マイワシ	79	427	5	
		マルソウダ	79	403	5	
釣り	紀伊水道	イサキ	356	214	1	大主体
		マルソウダ	356	1,629	5	
パッチ網	紀伊水道	シラス	128	86,400	675	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の23℃台、日和佐地先は「やや低め」～「平年並み」の23～24℃台で推移する見込み。

クラゲ情報：漁業調査船「とくしま」が7月9日に播磨灘で行ったクラゲ調査では、カブトクラゲが多数見られた。